

物臭太郎杯読書感想句コンクール 投票結果発表



本学の図書館（総合図書館中百舌鳥、経済・経営・法律系図書室、ヒューマンサイエンス系図書室、羽曳野図書センター、りんくう図書室）所蔵の本を題材に、その内容をユーモアや風刺のセンスで表現した読書感想句（川柳）を募集し、応募作品の中から入選作品10句を選出。さらに、その10句を対象に人気投票を実施しました。栄えあるベスト3はこちら！

物臭太郎賞は、投票数56票の内、15票を獲得した「マイク・タイソン」さんの読書感想句に決定！

【投票理由】※一部抜粋

「伊坂幸太郎の小説は毎回「そう来たか！」という驚きがあるので、伊坂作品をうまく表現できていると思います。」
「他の句に比べて言葉にリズムがあり、川柳らしいつづやき系ユーモアも感じられるほか、本の内容説明が謎めいているのでソソられる。」
「超展開がありそうな感じがして、読んでみたいなと思いました。」
「観えたね、銀髪紳士の顔面がピアノにめり込んでいる様を……まさにタイソンの怒りの日。」
「私の心もノックダウンされたので、この句を選びました。」



『アイネクライネナハトムジーク』

伊坂幸太郎著

そう来たか
モーツァルトも
ノックダウン
(マイク・タイソン)



金賞は、得票数11票の「もっち〜」さんの句！

【投票理由】※一部抜粋

「横須賀の花火大会を見に行った男の悲しげな背中が句からでも伝わってきた。」
「タイトル通り“草食系”で、とてもよいです。」

これ読めば
恋敵になれた
はずなのに
(もっち〜)



『草食系男子の恋愛学』森岡正博著

銀賞は、得票数7票の「しましま」さんの句！

【投票理由】※一部抜粋

「内容がぱっと思い浮かび、しかも本の題材の四字熟語まで取り入れられていて見事だったから。」
「言葉のゴロもあっていて面白い！四字熟語って難しそうなのに、テーマが恋で身近でその落差も新鮮。」

恋に夢中
端から見れば
五里霧中
(しましま)



『恋する四字熟語』佐藤真由美著

上記以外の入選作品

結局は
変える未来も
人次第
(機械学習研究者)



『人工知能はなぜ未来を変えるのか』松尾豊 塩野誠著

自称女子
集い共食い
代用魚
(みいどしまこの猫主)



『ニールバーチの女子会』柚木麻子著

書かぬなら
殺してしまえ
名探偵(コナン・ドイル)
(ナマケモノ)



『世界でいちばん面白い英米文学講義』巨匠たちの知られざる人生』エリオット・エンゲル著 藤岡啓介訳

果てはなく
「整理・整頓」
進い求め
(習慣で世界は変わる)



『新トヨタ式「改善」の教科書』世界No.1に導いたものづくりの原点』若松義人著

昨日見た
本のタイトル
何だっけ？
(同雇透)



『旋上今日子の備忘録』西尾維新著

利益主義
金の果実に
種子はなし
(アルミ缶)



『地球最後の日のための種子』スーザン・ドウォーキン著 中里京子訳

料理で
ここまでするか
オタクたち
(日ま)



『Cooking for Geeks』料理の科学と実践レシピ』ジエフ・ポッター著 水原文紀

before 超 ひきこもり



物臭太郎とは・・・

たいへん物臭な太郎が、歌や連歌の才能によって、立身出世する御伽草子。総合図書館中百舌鳥では、もと冊子本であったものを巻子に改装したものを所蔵。本巻は絵巻系の中でも最も原絵巻に近いもので、且つ書写年代も原絵巻の成立時よりそれほど時間が経過していない時のものとされ、慶長期を下らぬ頃のものとしてされています。

after 実はイケメン

